制定 2005年4月1日 設備工事情報シート 電気 W-E-4改訂 2014年2月1日

Ⅳ. アフタークレーム

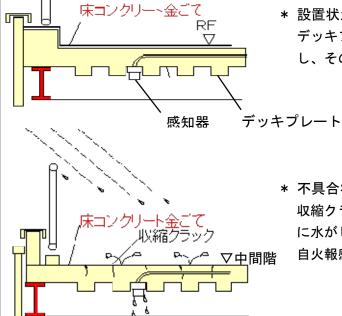
間違いやすい設計・施工事例

デッキプレートからの漏水

1. 目的及び概要

デッキプレート方式の屋外自走式駐車場等で、その天井面の照明器具・自火報等の設置方法を誤る と、雨水等による不具合を誘発する可能性が高くなる。 ここにその誤りやすい施工例を示す。

2. 不具合事例



* 設置状況

デッキプレートの配管貫通部より配管・配線を突き出 し、その部分に自火報感知器を設置した。

* 不具合状況

収縮クラック等により、デッキプレートとスラブ内 に水がしみ込み、配管貫通部より漏水。

自火報感知器が誤報を発報した。

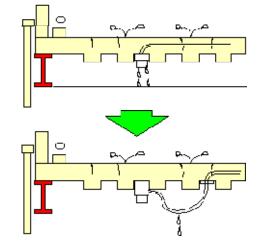
3. 処置方法

是正処置例 1



是正処置例2





* ポイント

雨線外のスラブには、基本的に配管を打ち込まないこと とし、露出配管で対応する。

デッキプレートを止むを得ず貫通して配線を行わなけれ ばならない場合は、その貫通部直下に自火報感知器等を 設置する事は避ける。

(一旦貫通した後、側部等に設置する事が望ましい。)